



EXHIBITION

YAMAGUCHI
SHUNAN
2024.4.20-4.29

HOKKAIDO
HIGASHIKAWA
2025.1.17-1.30

主催／周南市文化振興財団

共催／**KRY**山口放送

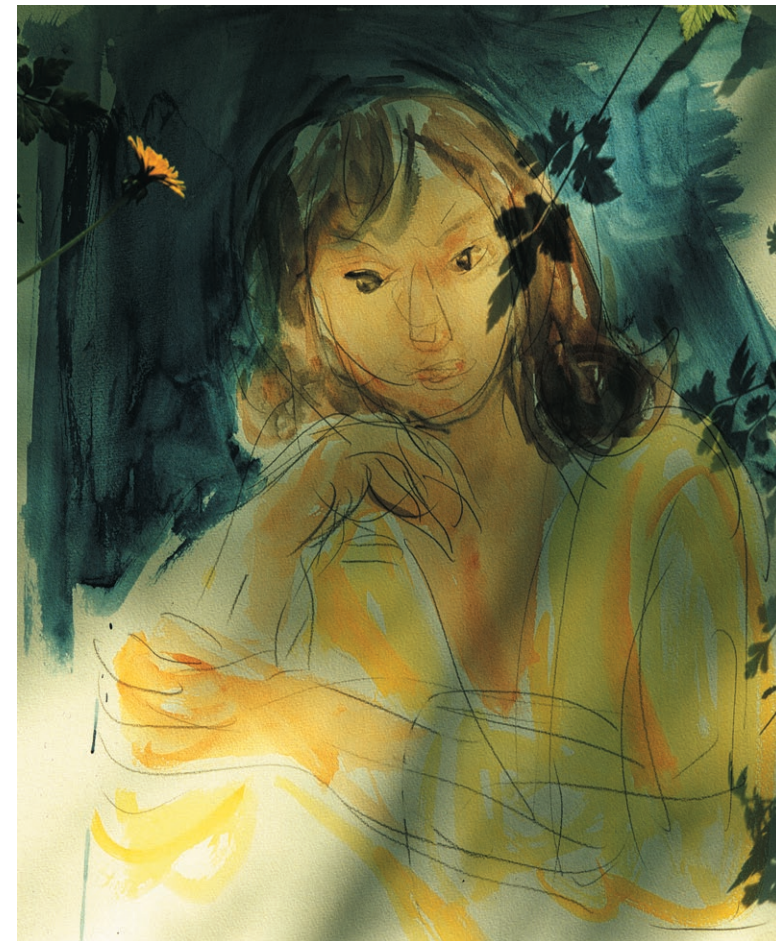
後援／読売新聞社

制作／林忠彦事務局
(周南市美術館)

<http://hayashi-award.com/>



第32回林忠彦賞 受賞記念写真展



BENZO ESQUISSES

(ベンゾウ エスキース)

1920-2012

奥山 淳志 OKUYAMA ATSUSHI

第32回林忠彦賞は
奥山 淳志氏の写真集
「BENZO ESQUISSES 1920-2012」に
決定しました。
(詳細は中ページへ)

授賞式を
周南市で
行います

32
HAYASHI
TADAHIKO
AWARD

林忠彦賞はこんな賞

— 社会は心を撃つ写真をさがしています —

山口県周南市出身の写真家林忠彦の名を冠した「林忠彦賞」は、林忠彦が「太宰治」「坂口安吾」などの作品で戦後の写真界に颯爽と躍り出た、最もエネルギーに満ちた時代に照準を合わせ、「社会が求める、その時代を一番象徴する写真を選び出そう」をコンセプトとしています。1991年(平成3)故郷である周南市と周南市文化振興財団が創設、今回で32回を数えます。

選考委員

敬称略・五十音順

大石 芳野 写真家(選考委員長)

笠原美智子 (公財)石橋財団アーティゾン美術館副館長

河野 和典 編集者、(公社)日本写真協会出版広報委員

小林 紀晴 写真家

有田 順一 周南市美術博物館館長



林 忠彦
Hayashi Tadahiko
[1918-1990]

山口県周南市出身。報道カメラマンとしてスタートし、人物写真、風景写真を撮り続けました。銀座のバー、ルパンで撮影した「太宰治」、原稿用紙に埋もれた「坂口安吾」、戦後の東京の姿をとらえた「カストリ時代」などが知られています。一方で秋山庄太郎らと二科会に写真部を創設するなどアマチュア写真家の育成にも力を注ぎ、生涯を通じて写真文化の発展に尽力しました。



左「太宰治」
右上「坂口安吾」
右下「煙草をくむらす戦災孤児」
(カストリ時代より)

第32回 林忠彦賞 受賞作

「BENZO ESQUISSES 1920-2012」

ベンゾウ

エスキース

第32回 林忠彦賞は、78点の応募作品の中から厳正な審査の結果、

奥山淳志さんの「BENZO ESQUISSES 1920-2012」に決定しました。

作者の奥山さんは25歳のときに、北海道の大自然の中で暮らす井上弁造さん(1920年生まれ)と出会いました。彼の暮らしぶりや生き方に触れ、弁造さんが2012年に92歳で亡くなったのちも現在まで、26年にわたり彼の生きざまを写真で伝え続けています。

2018年に『BENZO 弁造』、続いて翌年には『庭とエスキース』にまとめあげ、この『BENZO ESQUISSES 1920-2012』は3作目となります。

絵描きへの夢は叶わなくても一生絵を描き続けた弁造さん。この写真集は、長年にわたり弁造さんと向き合ってきた作者が、彼の死後、遺されていた膨大なエスキース(習作)を通して、人間が生きているということがどういふことを真摯に見つめた作品です。

選考委員 講評より

本作は、北海道に暮らす井上弁造さんに出会った作者が、その生き方に感銘を受け、長年にわたり取材したドキュメンタリーです。一見、画集のようにも見えますが、絵を単に複製しているわけではなく、弁造さんが暮らしていた丸太小屋の周りの植物などを絵に重ね、またそれらを影としても写し込んでいます。彼が残した絵を通して、彼の心情や思いを読み解いていこうとする斬新な表現が高く評価されました。写真集には詩情豊かな雰囲気が漂い、かつシャープな表現が印象的です。作者の弁造さんへの愛情あふれる温かいまなざしが感じられる作品です。

第32回 林忠彦賞 最終候補作品 11点

(敬称略・五十音順)

安掛正仁「朧眼風土記」／奥山淳志「BENZO ESQUISSES 1920-2012」／金川晋吾「長い間」／菅野純「Planet Fukushima」／藤本巧「朝鮮通信使 誠信の交わり 全式巻」／淵上裕太「上野公園」／松村和彦「心の糸」／三島正「Flat」／水島貴大「環島回憶録 Memoirs of Huandao」／山下晃伸「夜光性静物観察記」／梁丞佑「荷物」

第32回 林忠彦賞の授賞式を 周南市で行います!

日時 4月20日(土) 14:00~16:00

会場 遠石会館 千歳の間
(山口県周南市遠石2丁目3-1)

第一部 授賞式

第二部 大石芳野氏(選考委員長)講演会

※詳しくはホームページをご覧ください。

参加ご希望の方は電話でお申し込みください。
周南市美術博物館(0834-22-8880)

となたでも
ご参加
いただけます

林忠彦賞
ホームページ



受賞記念写真展へ
行ってみよう。

1 周南展

— 林忠彦の生誕地にある — 周南市美術博物館

2024年

4月20日(土)→4月29日(月・祝)

4月22日(月)休館

9:30~17:00(入館は16:30まで)

◆会期中は林忠彦記念室を含む常設展も
無料でご覧いただけます。

山口県周南市花畠町10-16 TEL(0834)22-8880

<http://s-bunka.jp/bihaku/>

観覧
無料

奥山淳志氏
トークショー
【参加無料】

4月21日(日) 10:30~

奥山氏に作品についてお話を聞きます。

話し手: 奥山淳志氏

聞き手: 有田順一

(周南市美術博物館館長 林忠彦賞選考委員)

会場/周南市美術博物館 講座室

定員/40名(先着順)

電話でお申し込みください(0834-22-8880)

2 東川展

写真の町 東川町文化ギャラリー

2025年

1月17日(金)→1月30日(木)

会期中無休 10:00~17:00

観覧料/100円 中学生以下無料

北海道上川郡東川町東町1-19-8

TEL(0166)82-4700

<https://higashikawa-town.jp/bunkagallery>

写真集
「BENZO ESQUISSES 1920-2012」



奥山淳志
プロフィール

1972年 大阪府生まれ、奈良県育ち。京都外国語大学卒業。1998年岩手県雫石に移住し、写真家として活動を開始。第40回伊奈信男賞(2015年)、日本写真協会新人賞(2018年)、第35回写真の町 東川賞 特別作家賞(2019年)、令和3年度岩手県美術選奨(2022年)